



Statement

2024年7月11日

当社子会社によるシニア債の現金対価による公開買付けの早期応募結果に関するお知らせ

武田薬品工業株式会社 ([TSE:4502/NYSE:TAK](https://www.takeda.com)) (以下、「当社」)は、本日、以前発表した、アイルランドの特定活動会社で、当社の完全子会社であるShire Acquisitions Investments Ireland DAC (以下、「SAIIDAC」)、及びデラウェア法人で、当社の完全子会社であるBaxalta Incorporated (以下、「Baxalta」)。SAIIDACと併せて、「本買付者」が、SAIIDACの発行済み2026年満期3.200%シニア債、及びBaxaltaの発行済み2025年満期4.000%シニア債(以下、総称して「本外債」)につき、合計元本総額最大1,500,000,000米ドル(以下、「合計上限買付額」)を、2024年6月26日付の買付説明書(以下、「買付説明書」)に記載の諸条件に従って買い付けるための、現金対価による公開買付け(以下、本外債の各シリーズの買付けの応募を個別に及び総称して、「本公開買付け」)に関して、その早期応募結果をお知らせいたします。

2024年7月10日のニューヨーク時間午後5:00(以下、「早期応募期限」)現在、次の表に掲げる本外債の元本は、有効に応募されており、有効に撤回されていません。

発行会社	本外債のシリーズ	CUSIP/ISIN番号			未払い元本総額	応募された元本金額 ⁽¹⁾	受理された元本金額	買付優先順位	概算按分
SAIIDAC	2026年満期 3.200% シニア債	82481L AD1/US82481LAD10			3,000,000,000 米ドル	1,534,625,000 米ドル	1,500,000,000 米ドル	1	97.74%
Baxalta	2025年満期 4.000% シニア債	07177M AA1 / US07177MAA18 (144A債)	U07237 AA5 / USU07237AA50 (レギュレーションS債)	07177MAB9/ US07177MAB90 (グローバル債)	800,472,000 米ドル	457,012,000 米ドル	0 米ドル	2	0%

注

(1)本公開買付けの預託機関兼情報エージェントである Global Bondholder Services Corporation の報告によります。

本公開買付けの条件に従い、買付けが受諾された本外債の金額は、合計上限買付額が上限となります。本買付者が買付けを受理した本外債の各シリーズの金額は、上記の表に記載された買付優先順位に従って決定され、優先順位1の本外債は優先順位2の本外債よりも高い買付優先順位を有し、買付説明書に記載された按分手順に従って、合計上限買付額を超えないように決定されました。従って、本買付者は、有効な応募があり、かつ撤回されていない優先順位1の本外債の元本総額1,500,000,000米ドルの買付けに応じ、優先順位2の本外債の買付けに応じる予定はありません。

撤回期限である2024年7月10日ニューヨーク時間午後5:00は既に経過しており、本公開買付けにおいて有効に応募された本外債は、法令により追加的に撤回権が要求される場合を除き、撤回することは

きなくなっております。

公開買付者が、有効に応募され、有効に撤回されず、本公開買付けに基づき買付けのために受諾された本外債の買付けを受理し、その代金を支払う義務の発生は、買付説明書に記載された一定の条件（本公開買付けに基づく買付けの対象である本外債の買付対価及び合計対価(該当する場合)の支払資金に充てるための当社によるシニア債の募集(以下、「本募集」)を、当社が合理的に納得できる条件で完了することを含みます。以下、「本買付条件」)の充足又は放棄を条件とします。2024年7月5日、当社は、本募集を完了し、買付説明書に記載の「本買付条件」を充足しました。

公開買付者は、2024年7月11日ニューヨーク時間午前10:00に、本公開買付けの価格条件を決定する予定です。本公開買付けに係る早期決済日は、2024年7月12日となります。

本公開買付けは、延長又は早期終了がなされない限り、2024年7月25日午後5時(ニューヨーク時間)をもって終了する予定です。ただし、本公開買付けの対象となった本外債の保有者は、早期応募期限以前に、本外債につきその元本総額が合計上限買付額を超える金額を有効に応募しており、有効に撤回していないため、公開買付者は、早期応募期限より後に応募された本外債の買付けを受理いたしません。

本公開買付けにおいて本買付者により買付けが受理されなかった本外債は、速やかに証券預託機関の本外債の登録名義人の口座に入金されるか、又は買付説明書に従ってその他の方法により返還されます。

本公開買付けについては、Morgan Stanley & Co. LLC、及び J.P. Morgan Securities LLC がディーラー・マネージャー(以下、総称して、「ディーラー・マネージャー」)を務めます。Global Bondholder Services Corporation は、本公開買付けの預託機関及び情報代理人の両方の役割を務めます。本買付けに関するご質問は、Morgan Stanley & Co. LLC(電話:(800) 624-1808 又は(212) 761-1057)にお問い合わせください。買付説明書及びその他の関連資料のコピーのご依頼は、Global Bondholder Services Corporation(電話:(866) 470-4200 又は(212) 430-3774)までご連絡ください。買付説明書及びその他の関連資料は、次のリンクでも入手可能です。<http://www.gbsc-usa.com/takeda/>

当社、本買付者、それぞれの取締役又は役員、ディーラー・マネージャー、預託機関、情報代理人又は本外債に関する該当する受託者又はそれぞれの関連会社のいずれも、保有者が本公開買付けに応じて本外債に応募するかに関して、いかなる推奨も行いません。保有者は、本公開買付けに参加するかどうか、また参加する場合には応募する本外債の元本額についてご自身の判断で行うようお願いいたします。本公開買付けは、買付説明書によってのみ行われます。本リリースは、本公開買付けにおいて債券の購入の申込み又は売却の申込みの勧誘を行うものではありません。本公開買付けは、その実施又は受諾が当該法域の証券取引法、ブルースカイ法又はその他の法令に準拠しない法域の保有者に対して行われるものではありません。認可を受けたブローカー又はディーラーによって本公開買付けを行うことを要求する法域においては、本公開買付けは、ディーラー・マネージャー又は当該法域の法令に基づいて認可を受けた1つ以上の登録ブローカー若しくはディーラーによって、各本買付者に代わって行われたものとみなされます。

<武田薬品について>

武田薬品 (TSE:4502/NYSE:TAK) は、世界中の人々の健康と、輝かしい未来に貢献することを目指しています。消化器系・炎症性疾患、希少疾患、血漿分画製剤、オンコロジー(がん)、ニューロサイエンス(神経精神疾患)、ワクチンといった主要な疾患領域及び事業分野において、革新的な医薬品の創出に向けて取り組んでいます。パートナーとともに、強固かつ多様なパイプラインを構築することで新たな治療選択肢をお届けし、患者さんの生活の質の向上に貢献できるよう活動しています。武田薬品は、日本に本社を置き、自らの企業理念に基づき患者さんを中心に考えるというバリュー(価値観)を根幹とする、研究開発型のバイオ医薬品のリーディングカンパニーです。2 世紀以上にわたり形作られてきた価値観に基づき、社会における存在意義(パーパス)を果たすため、約 80 の国と地域で活動しています。詳細については、<https://www.takeda.com/jp/>をご覧ください。

<問い合わせ先>

<投資家関係問い合わせ先>

Christopher O' Reilly
クリストファー・オライリー
christopher.oreilly@takeda.com
+81 (0) 3-3278-2543

<報道関係問い合わせ先>

完戸(シシド) 綾
aya.shishido@takeda.com
+81 (0) 70-2819-9041

<将来に関する見通し情報>

本ニュースリリース及び本ニュースリリースに関して配布された資料には、武田薬品の見積もり、予測、目標及び計画を含む武田薬品の将来の事業、将来のポジション及び業績に関する将来見通し情報、理念又は見解が含まれています。将来見通し情報は、「目標にする(targets)」、「計画する(plans)」、「信じる(believes)」、「望む(hopes)」、「継続する(continues)」、「期待する(expects)」、「めざす(aims)」、「意図する(intends)」、「確実にする(ensures)」、「だろう(will)」、「かもしれない(may)」、「すべきであろう(should)」、「であろう(would)」、「かもしれない(could)」、「予想される(anticipates)」、「見込む(estimates)」、「予想する(projects)」、「予測する(forecasts)」、「見通し(outlook)」などの用語若しくは同様の表現又はそれらの否定表現を含むことが多いですが、それに限られるものではありません。これら将来見通し情報は、多くの重要な要因に関する前提に基づいており、実際の結果は、将来見通し情報において明示又は暗示された将来の結果とは大きく異なる可能性があります。その重要な要因には、本公開買付けの最終結果、日本及び米国の一般的な経済条件を含む武田薬品のグローバルな事業を取り巻く経済状況、競合製品の出現と開発、関連法規の変更、臨床的成功及び規制当局による判断とその時期の不確実性を含む新製品開発に内在する困難、新製品及び既存製品の商業的成功の不確実性、製造における困難又は遅延、金利及び為替の変動、市場で販売された製品又は候補製品の安全性又は有効性に関するクレーム又は懸念、新規コロナウイルス・パンデミックのような健康危機、温室効果ガス排出量の削減又はその他環境目標の達成を可能にする武田薬品の環境・サステナビリティに対する取り組みの成功、人工知能(AI)を含むデジタル技術の統合をはじめとする、業務効率化、生産性向上又はコスト削減に向けた武田薬品の取り組みや、その他の事業再編に向けた取り組みが、期待されるベネフィットに寄与する程度、武田薬品のウェブサイト(<https://www.takeda.com/jp/investors/sec-filings/>)又は www.sec.gov において閲覧可能な米国証券取引委員会に提出した Form 20-F による最新の年次報告書並びに武田薬品の他の報告書において特定されたその他の要因が含まれます。武田薬品は、法律や証券取引所の規則により要請される場合を除き、本ニュースリリースに含まれる、又は武田薬品が提示するいかなる将来見通し情報を更新する義務を負うものではありません。過去の実績は将来の経営結果の指針とはならず、また、本ニュースリリースにおける武田薬品の経営結果及び情報は武田

薬品の将来の経営結果を示すものではなく、また、その予測、予想、保証又は見積もりではありません。

以上